



放課後等デイサービス hustle 体験授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター
令和5年5月20日(土)



「実際に見本を触って確認することも出来て、 子どもたちにもわかりやすかったです。」

富士宮の放課後等デイサービス hustle の小学3年生から6年生までの4人と支援員3人が、放課後等デイサービスにおける体験活動の一環として、体験活動を通じて達成感を味わってもらうことを目的に、当センターで勾玉作り体験を行いました。

勾玉作り体験



初めに、勾玉の形が、日本独自の形であり、世界的にも珍しいことを話しました。そして、古代人も勾玉などのアクセサリーを身につけていて、おしゃれだったことを伝えました。

次に、3枚の紙やすりの使い方や、曲線の削り方などを説明しました。

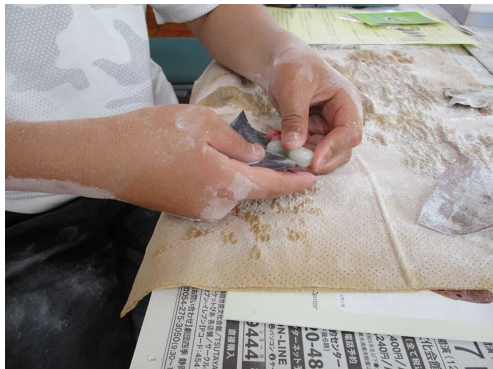
いよいよ子どもたち自身が削ります。根気よく丁寧に削っていき、自分好みの形になったら、蛍光ペンで色を着色しました。



世界に1つだけの勾玉が出来上がり、とてもうれしそうでした。

「自分の好みに
形を整えられてよ
かった。」

「大変だったけど、
楽しかった。」



指導員さんの感想

「普段落ち着いて座っているのが難しい子も、紙やすりで削るのに夢中になり、あっという間に1時間45分が経ちました。低学年の子でも無理なく作業することができて良かったです。実際に見本を触って確認することも出来て、子どもたちにもわかりやすかったです。子どもたちへの対応も、とても親切で、うまく出来ない子にも横について対応してくださり助かりました。」

